

4 「景観」について

(1) 地域の景観への意識

問20. あなたはお住まいの地域の景観について普段気にされていますか。(〇は1つだけ)

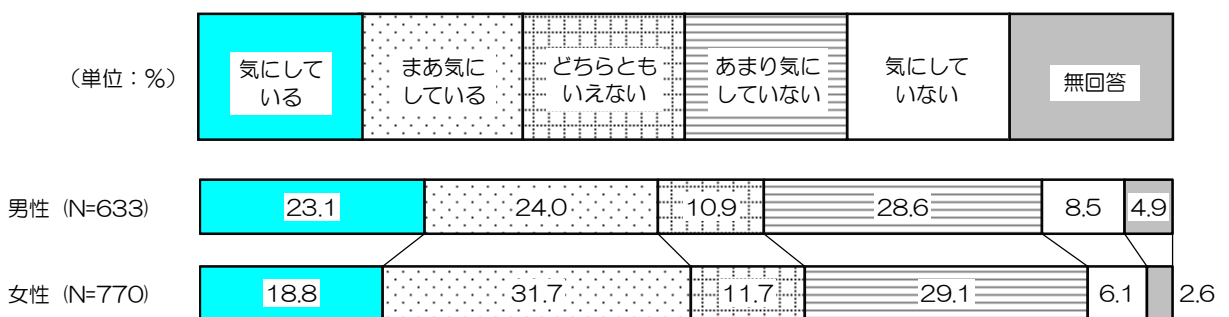
〔図表4-1 地域の景観への意識〕



【全体の考察】

地域の景観への意識をたずねた。「あまり気にしていない」が28.8%で最も高く、次いで、「まあ気にしている」28.1%、「気にしている」20.9%、「どちらともいえない」11.4%となっている。また、「気にしている」と「まあ気にしている」を合わせた49.0%が地域の景観を概ね気にしており、“気にしていない計”（「あまり気にしていない」＋「気にしていない」）を13.0ポイント上回っている。（図表4-1）

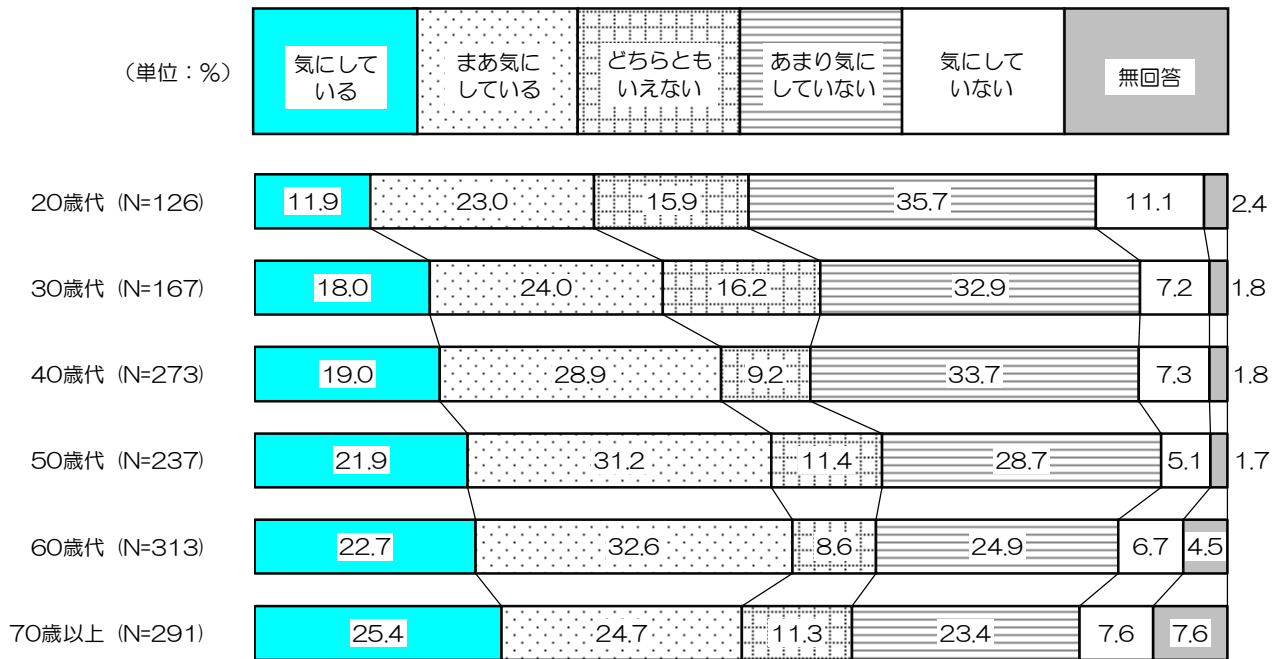
〔図表4-1-1 地域の景観への意識（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、「気にしている」は『男性』が『女性』を4.3ポイント上回っているが、“気にしている計”（「気にしている」＋「まあ気にしている」）では『女性』が『男性』を3.4ポイント上回っている。（図表4-1-1）

〔図表4-1-2 地域の景観への意識（年代別）〕



【年代別の考察】

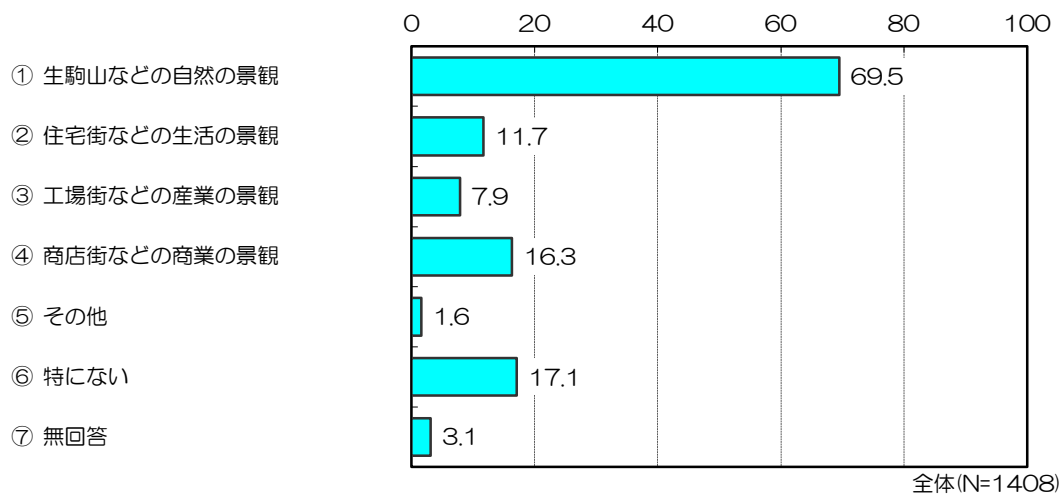
年代別にみると、「気になっている」は年代が上がるにつれ高くなっている。“気になっている計”は『50歳以上』で半数をこえており、『60歳代』で5割半と最も高くなっている。“気にしていない計”は『20歳代』で最も高く5割弱となっている。(図表4-1-2)

(2) 東大阪市の好きな景観

問 2 1. あなたは東大阪市のどんな景観が好きですか。(〇はいくつでも)

〔図表 4-2 東大阪市の好きな景観【複数回答】〕

(単位：%)

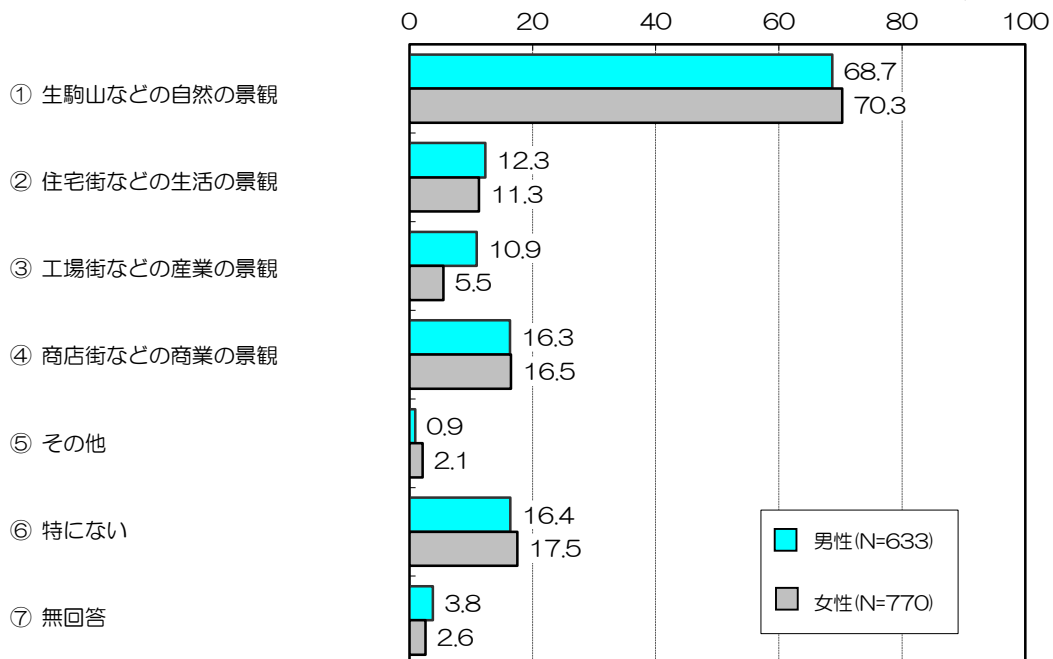


【全体の考察】

東大阪市の好きな景観をたずねた。「①生駒山などの自然の景観」が69.5%で最も高く、次いで、「⑥特にない」17.1%、「④商店街などの商業の景観」16.3%となっている。(図表4-2)

〔図表 4-2-1 東大阪市の好きな景観【複数回答】(性別)〕

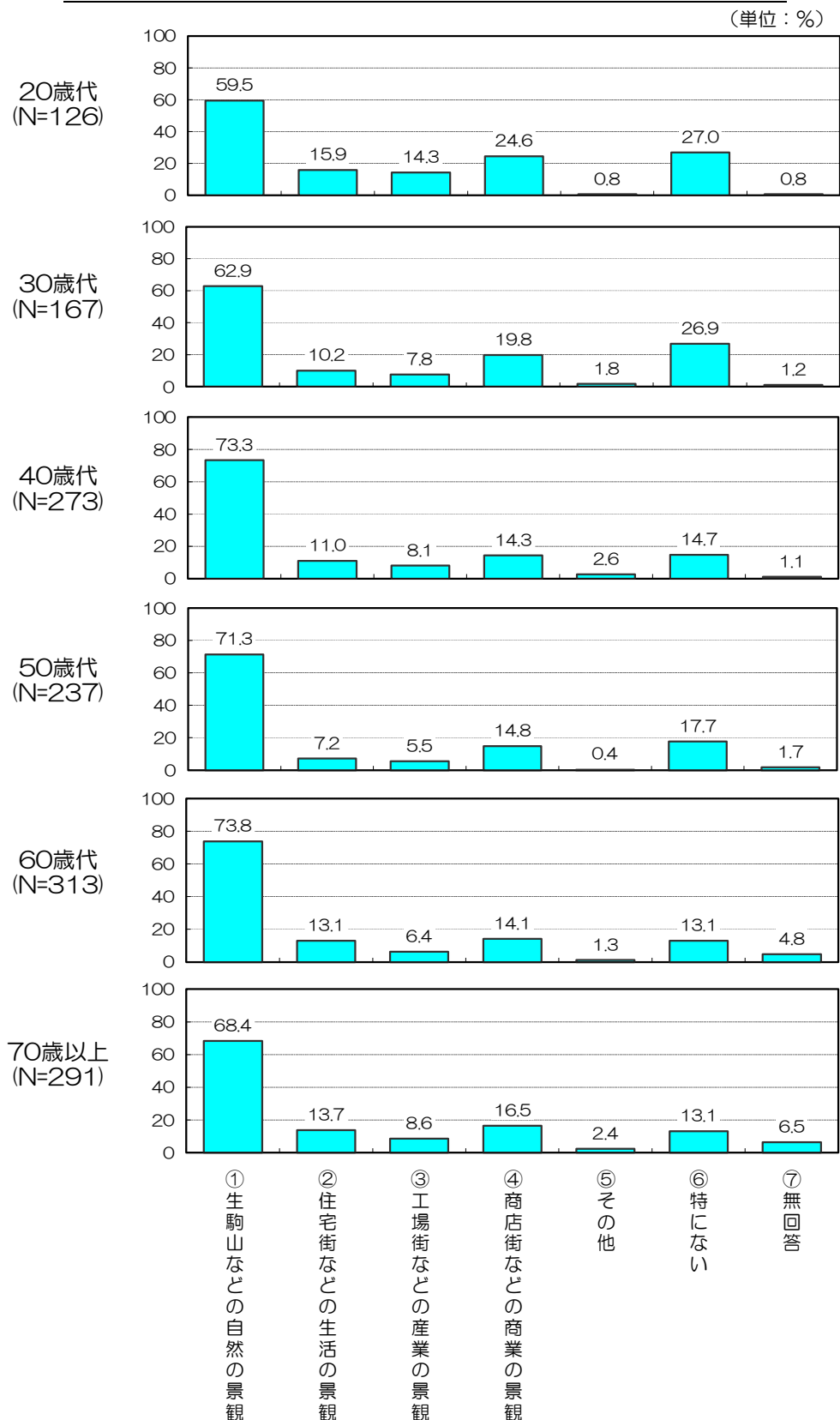
(単位：%)



【性別の考察】

性別にみると、「③工場街などの産業の景観」は『男性』が『女性』を5.4ポイント上回っている。(図表 4-2-1)

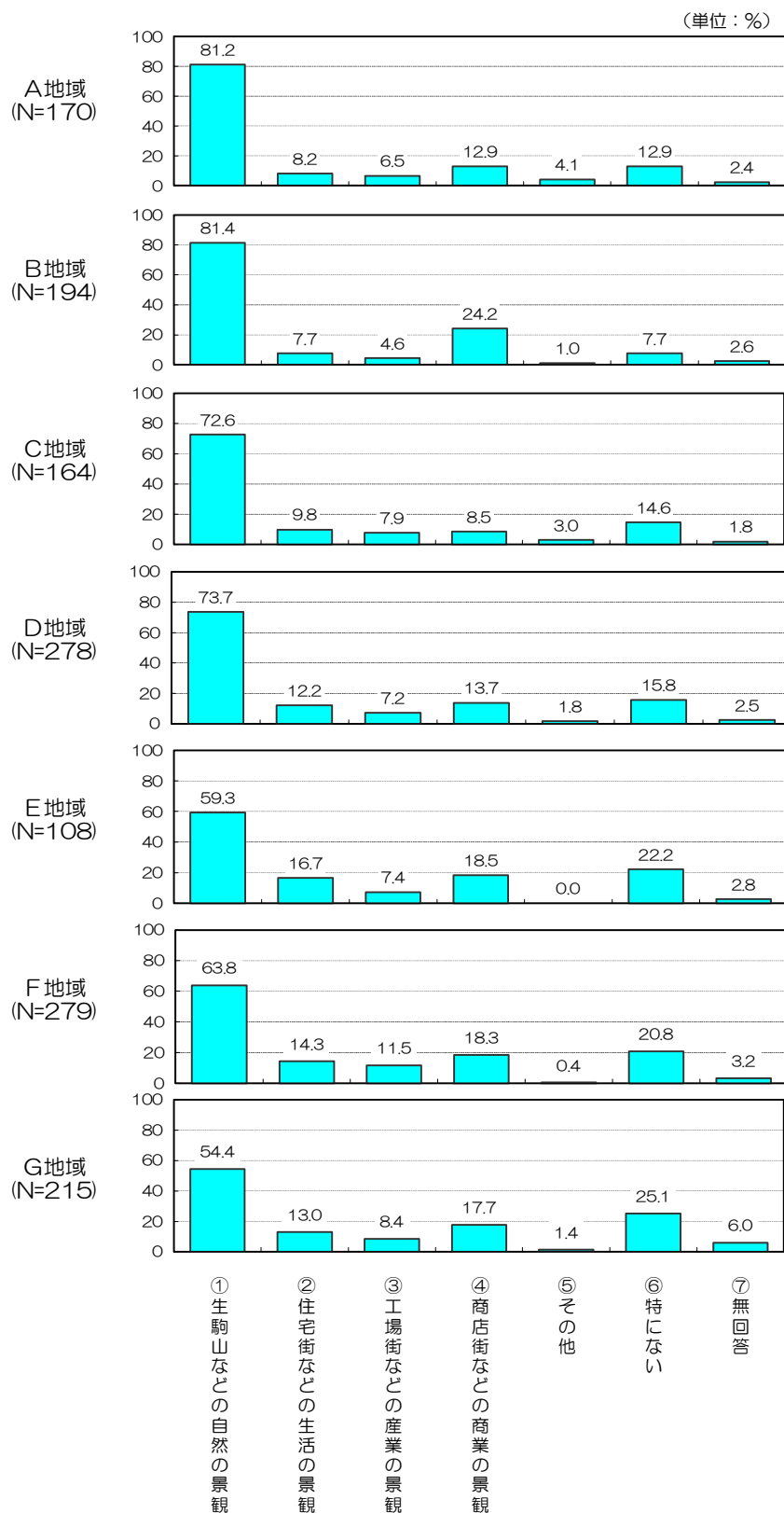
〔図表4-2-2 東大阪市の好きな景観【複数回答】(年代別)〕



【年代別の考察】

年代別にみると、「①生駒山などの自然の景観」は『40～60歳代』で7割強と高いが、最も低い『20歳代』では6割弱となっている。「④商店街などの商業の景観」は『20歳代』で最も高く2割半となっている。(図表4-2-2)

〔図表4-2-3 東大阪市の好きな景観【複数回答】(居住地域別)〕



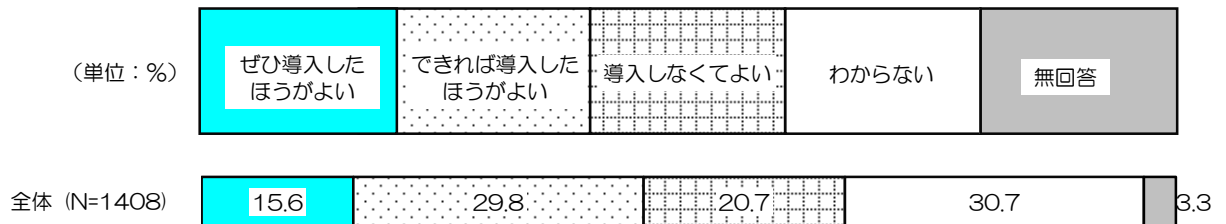
【居住地域別の考察】

居住地域別にみると、「①生駒山などの自然の景観」は『A地域』『B地域』で高く、8割強となっている。「④商店街などの商業の景観」は『B地域』で高く、2割強。(図表4-2-3)

(3) 建物が市の基準に合うよう事前に届出をする制度を戸建住宅にも導入すべきか

問2 2. 東大阪市では高いビルやマンション、面積が大きい工場などを建てる時などは、建物や外構などの配置やデザインなどを本市が定めた基準に合うよう事前に届出をする制度を昨年導入しました。あなたは、この制度を戸建住宅にも導入すべきだと思いますか。(○は1つだけ)

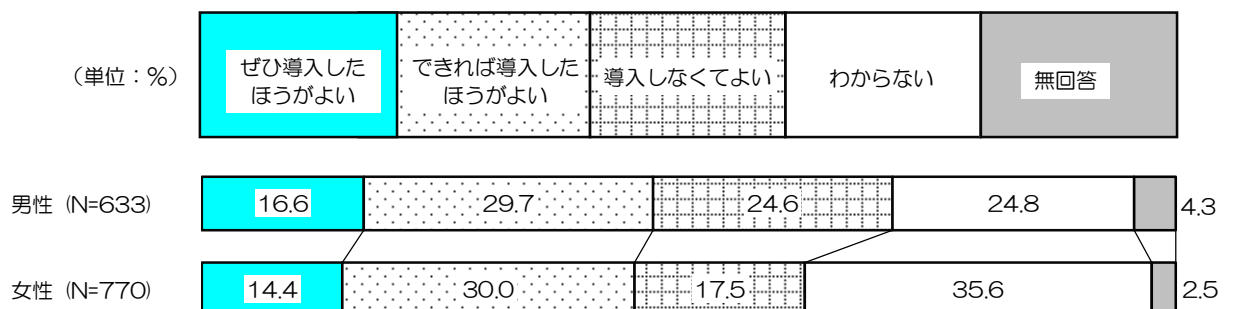
〔図表4-3 建物が市の基準に合うよう事前に届出をする制度を戸建住宅にも導入すべきか〕



【全体の考察】

建物が市の基準に合うよう事前に届出をする制度を戸建住宅にも導入すべきかをたずねた。「わからない」が30.7%で最も高く、次いで、「できれば導入したほうがよい」29.8%、「導入しなくてよい」が20.7%、「ぜひ導入したほうがよい」15.6%となっている。また、「ぜひ導入したほうがよい」と「できれば導入したほうがよい」を合わせた45.4%が概ね導入したほうがよいとしており、「導入しなくてよい」を24.7ポイント上回っている。(図表4-3)

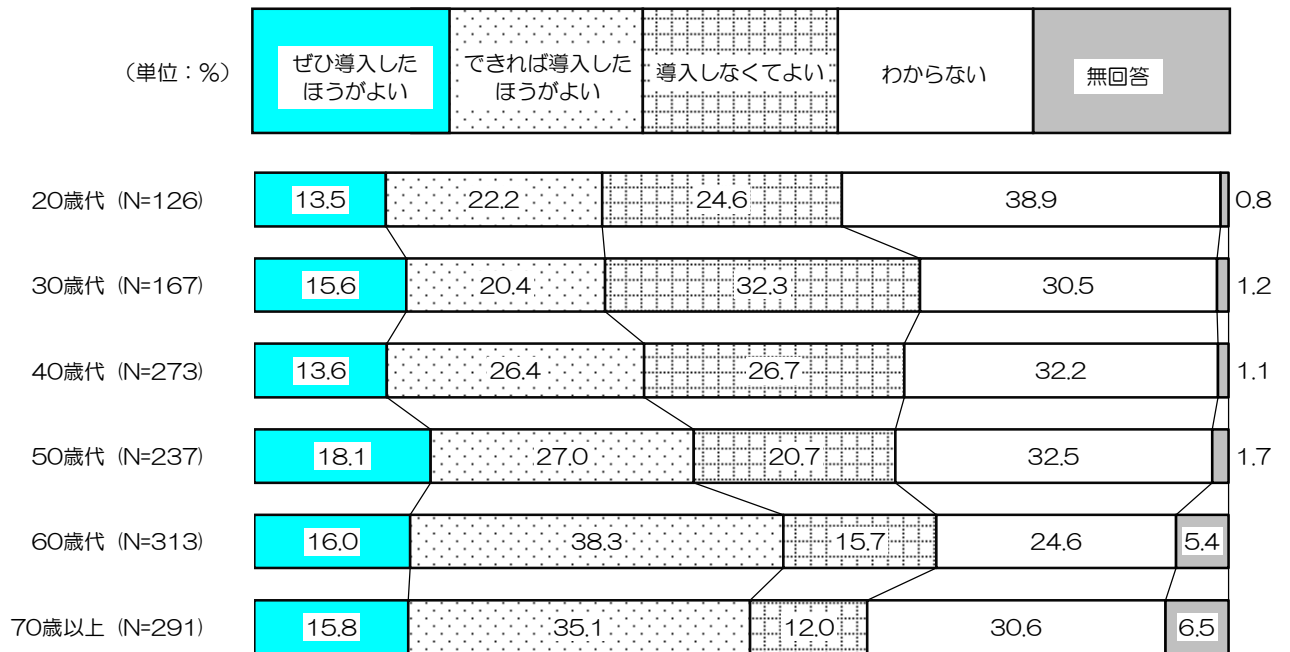
〔図表4-3-1 建物が市の基準に合うよう事前に届出をする制度を戸建住宅にも導入すべきか(性別)〕



【性別の考察】

性別にみると、“導入したほうがよい計”(「ぜひ導入したほうがよい」+「できれば導入したほうがよい」)、「導入しなくてよい」とともに『男性』が『女性』を上回っており、「わからない」は『女性』が『男性』を10.8ポイント上回っている。(図表4-3-1)

〔図表4-3-2 建物が市の基準に合うよう事前に届出をする制度を
戸建住宅にも導入すべきか（年代別）〕



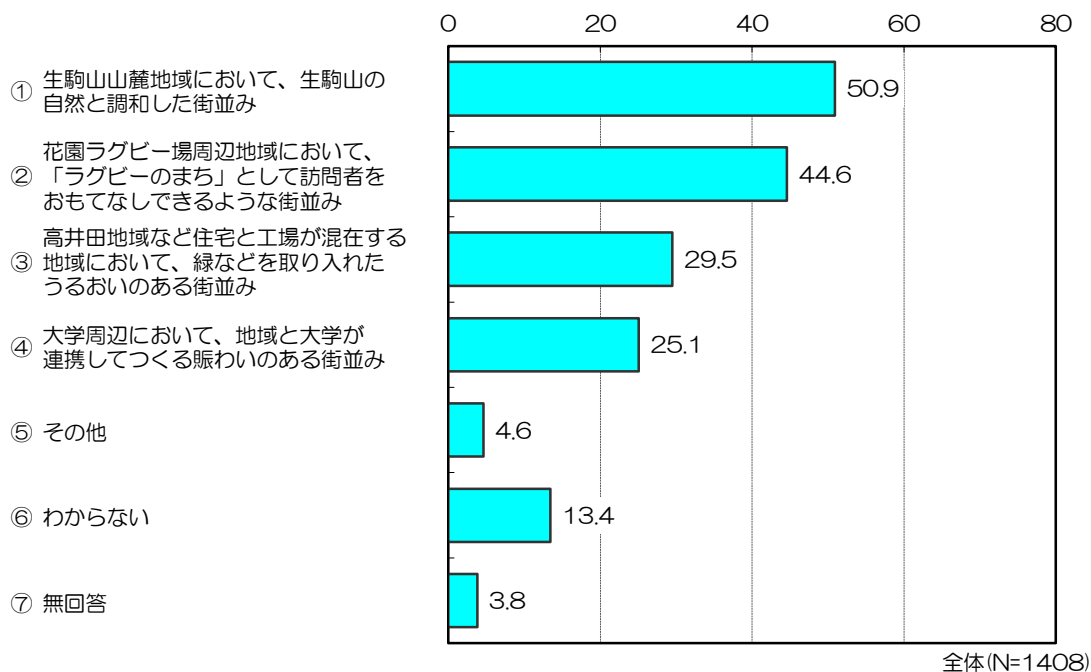
【年代別の考察】

年代別にみると、“導入したほうがよい計”は『60歳代』で最も高く5割強、『20～30歳代』では3割半と低くなっている。(図表4-3-2)

(4) 充実をめざして取り組むべき街並み

問23. 東大阪市の景観の取組みとして、あなたはどの街並みづくりの充実をめざすべきだとお考えですか。(〇はいくつでも)

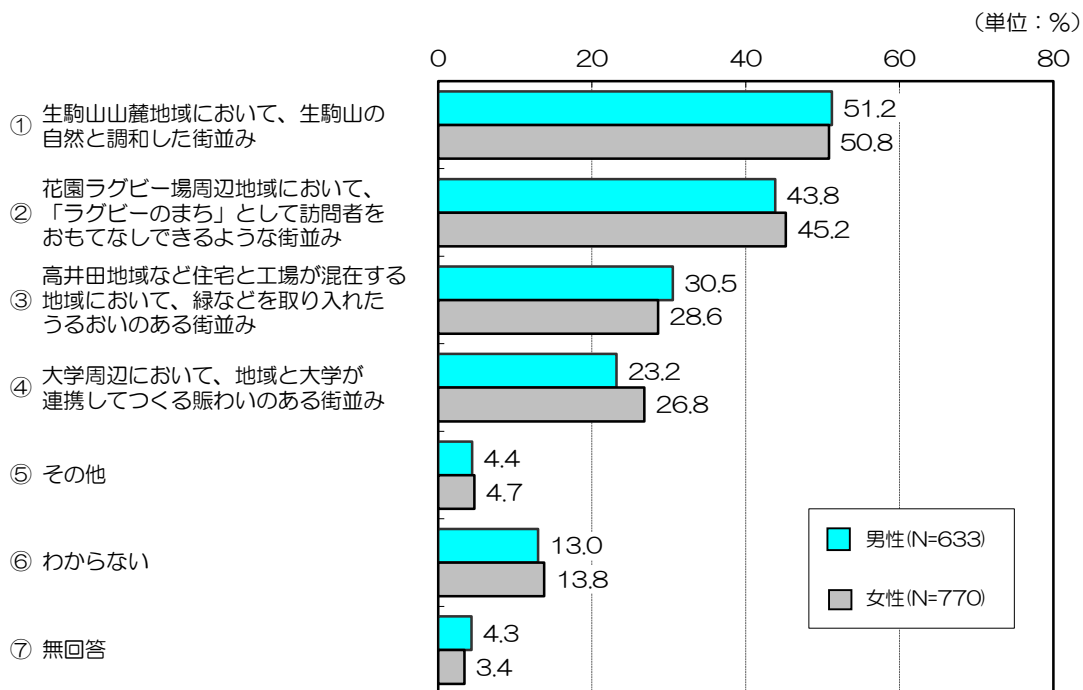
〔図表4-4 充実をめざして取り組むべき街並み【複数回答】〕 (単位：%)



【全体の考察】

充実をめざして取り組むべき街並みをたずねた。「①生駒山麓地域において、生駒山の自然と調和した街並み」が50.9%で最も高く、次いで、「②花園ラグビー場周辺地域において、「ラグビーのまち」として訪問者をおもてなしできるような街並み」が44.6%、「③高井田地域など住宅と工場が混在する地域において、緑などを取り入れたうるおいのある街並み」が29.5%となっている。(図表4-4)

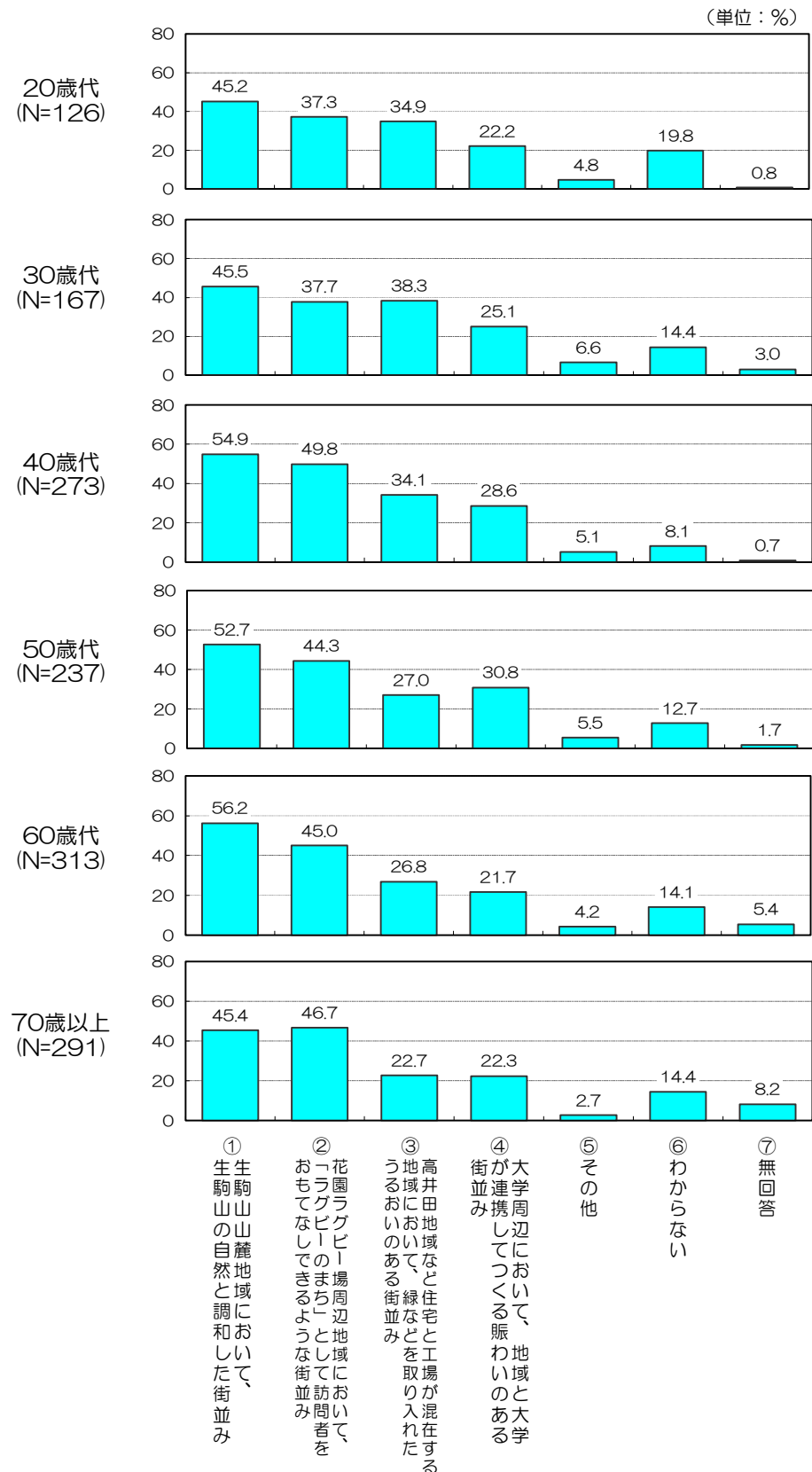
〔図表4-4-1 充実をめざして取り組むべき街並み【複数回答】(性別)〕



【性別の考察】

性別にみると、「④大学周辺において、地域と大学が連携してつくる賑わいのある街並み」は『女性』が『男性』を3.6ポイント上回っている。(図表4-4-1)

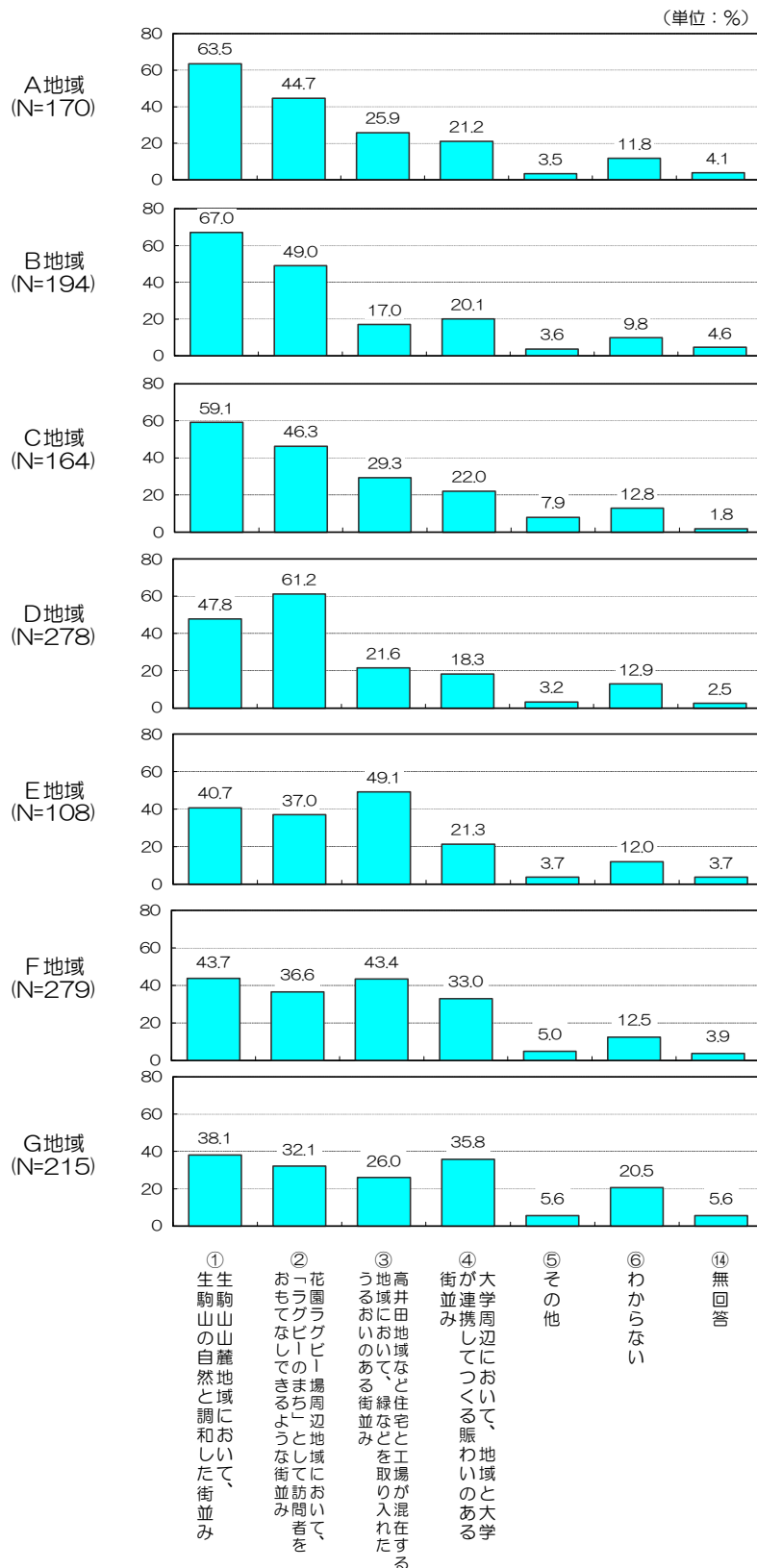
〔図表4-4-2 充実をめざして取り組むべき街並み【複数回答】（年代別）〕



【年代別の考察】

年代別にみると、「①生駒山山麓地域において、生駒山の自然と調和した街並み」は『40歳代』『60歳代』で高く、5割半～6割弱となっている。「②花園ラグビー場周辺地域において、「ラグビーのまち」として訪問者をおもてなしできるような街並み」は『40歳代』で最も高く、『20～30歳代』で低くなっている。(図表4-4-2)

〔図表4-4-3 充実をめざして取り組むべき街並み【複数回答】（居住地域別）〕



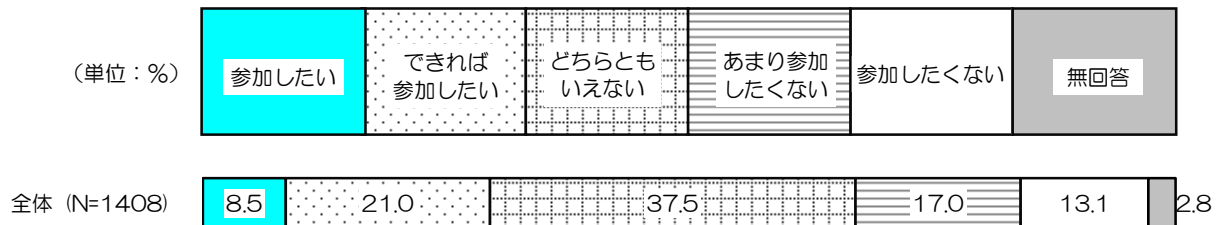
【居住地域別の考察】

居住地域別にみると、「①生駒山麓の自然と調和した街並み」は『A地域』『B地域』で高く、『G地域』で低くなっている。「②花園ラグビー場周辺地域において、「ラグビーのまち」として訪問者をおもてなしできるような街並み」は『D地域』で高く、「③高井田地域など住宅と工場が混在する地域において、緑などを取り入れたうるおいのある街並み」は『E地域』で高くなっている。(図表 4-4-3)

(5) 「景観まちづくり」に参加したいと思うか

問24. あなたは樹木や草花の植栽活動、景観に関するイベントなど、「景観まちづくり」に参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)

〔図表4-5 「景観まちづくり」に参加したいと思うか〕



【全体の考察】

「景観まちづくり」に参加したいと思うかをたずねた。「どちらともいえない」が37.5%で最も高く、次いで、「できれば参加したい」21.0%、「あまり参加したくない」17.0%、「参加したくない」13.1%、「参加したい」8.5%となっている。また、“参加したい計”（「参加したい」+「できれば参加したい」）は29.5%で、“参加したくない計”（「あまり参加したくない」+「参加したくない」）30.1%とほぼ同数である。（図表4-5）

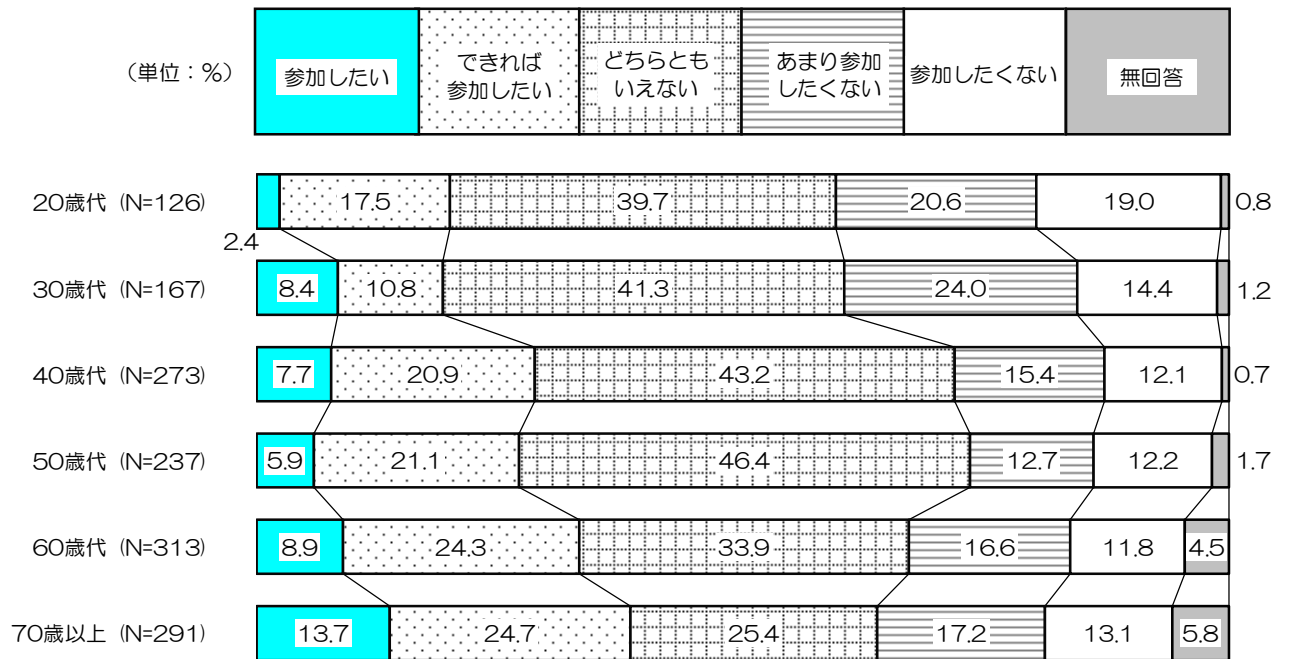
〔図表4-5-1 「景観まちづくり」に参加したいと思うか（性別）〕



【性別の考察】

性別にみると、“参加したい計”（「参加したい」+「できれば参加したい」）で男女差はほとんどみられないが、“参加したくない計”（「あまり参加したくない」+「参加したくない」）では『女性』が『男性』を4.7ポイント上回っており、『女性』は“参加したくない計”が“参加したい計”を上回る。（図表4-5-1）

〔図表4-5-2 「景観まちづくり」に参加したいと思うか（年代別）〕



【年代別の考察】

年代別にみると、“参加したい計”は『70歳以上』で4割弱と最も高いが、『20～30歳代』では2割弱にとどまっている。『20～30歳代』では“参加したくない計”が4割弱で、“参加したい計”を上回っている。(図表4-5-2)